



Studie



HOME

What's Studie

Studieのコンセプトや
取組みなどをご紹介

CONCEPT

TDMMC
Tuning
Dressup
Maintenance
Motorsport

MEDIA MIX

Magazine
Photograph
Youtube

EVENT

BMW Familie!
Familie! Westen
Car Show
Circuit
スタミ。
ミチノクオフライン
こら〜れ

ARCHIVE

ARCHIVES

Studie Photo Contest 2015



power to hearさん

Title : always photo studie

フレーミングと言い、色の出し方といい文句なし。秀逸な作品です。夕景にシルエットの橋がなんとも言えない良い雰囲気を出しています。もし自分がこのシチュエーションに置かれたら、ヘッドライトではなくポジションランプにし、円形のライトを際立てたと思います。(間違っていない?) 夕景は時間との勝負なので、迷わないことが重要。最高の着地点に向かって、迷わず進んだ意志の勝利ですね。

ORIHARA HIROYUKI [フォトグラファー]

Studie Photo Contest 2015

募集期間 : 2015年7月16日~8月15日

テーマ : StudieとBMW

応募総数 : 108点



KUMASAKI KEISUKE
[af imp. 編集長]

どう絡ませるのか、実はかなり楽しみだった今回のお題です。スタディはビット作業を見ることが出来るお店ですから、そこで自分の愛車とメカさんを入れ込むということは考えられました。それ以外でとなると、特徴的なカンパニーマークか、スーパーGTか。色々な工夫や試行錯誤を凝らした写真が多く、非常に楽しく審査させて頂きました。プロ顔負けの仕上がりであったり、そう来たかというアイデアものだったり。こちらも勉強になりました。次回は記念すべき10回目、さて、どうなることやら?



SHIMAZAKI TOMOHITO
[フォトグラファー]

毎年、自分だったらどう撮るかって思いながら審査させて頂いてくださる、ホント難しいですね(笑) 今年も難しいテーマの下、たくさんのお傑作をありがとうございます。みなさんがどのようにスタディを絡めてくるか楽しみでした(笑) 予想出来たのもあれば、こう来るか!? 的なモノまでみなさんの創作力に今年も驚かされました(^_^) 来年は節目の10回目! どんなお題が出るのか? そして、どんな素晴らしい作品に逢えるのか楽しみにしております!!



TAMURA WATARU
[フォトグラファー]

今回のテーマ「Studie & BMW」。一見簡単そうなお題ですが、もし自分でこのテーマを、と、思うと悩んでしまうと思います。お題が漠然としているので、明確なイメージを持って撮影に挑む事が重要です。皆さんの力作を拝見して、テーマに対するご苦労が感じ取れました。しかし



準優勝★★★★★★★★

よしさん

Title : 職人

タイトル、テーマとまさにドンズバな作品だと思います。雑然としたPITの雰囲気、作業に集中しているメカニック。こんな光景が目の前で見れるのはスタディさんならではのですね。もう少し人物(メカさん)の表情を見れたらなあって・・・欲深いかな。(^^)

SHIMAZAKI TOMOHITO [フォトグラファー]



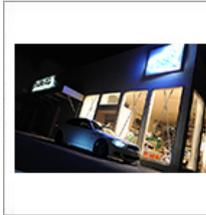
第3位★★★★★★★★

Tom Westsideさん

Title : グランツーリスモの原点

長い距離を駆け抜けてきて出会った奇跡の瞬間。雲間から差し込む夕日と、地平線に消えて行くセンターラインの構図の良さ、キラリと光るリム。北海道・美瑛の壮大な光景と道行きのストーリーを感じさせる写真です。

KUMASAKI KEISUKE [af imp. 編集長]



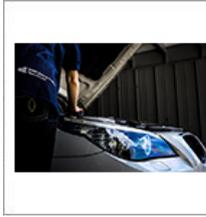
第4位★★★★★★

sasaki@studieさん

Title : Studie Night

夜撮が大成功な一枚。クルマと店内とネオンサイン。魅せたい要素だけを浮かび上がらせ、余分な部分は陰に落とす手法が素晴らしいです。露出も絶妙。明かりの残る店内もワクワク感をそそりますね。

TAMURA WATARU [フォトグラファー]



第5位★★★★★

源太饅頭さん

Title : 青い空と白い雲

上着の腰に入ったチーム名を入れ込むあたりはあざといのですが、特徴的なヘッドライトに映る空が、暗いガレージから太陽の下へと飛び出していく先代5シリーズの元気な姿を思わせます。映り込みを上手く使いましたね。

KUMASAKI KEISUKE [af imp. 編集長]



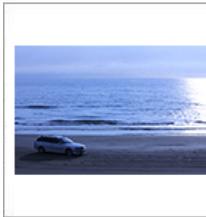
第6位★★★★

おまユさん

Title : ねえ、お姉さん、ぼくとすたでいに行かない?

2台のボディカラーの赤と黄色のヴィヴィットな色が目を引き、シチュエーションからお姉さんとボクの会話もまさにこんな感じに聞こえてくるようなユーモアが溢れますね(笑) 個人的には空の色がもっと出たら2台のクルマとの色の対比がさらに映えたかなって思っちゃいました(^^)

SHIMAZAKI TOMOHITO [フォトグラファー]



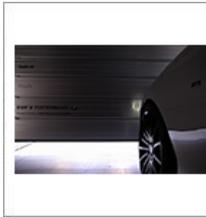
第7位★★★★

25Tさん

Title : Just E46ツーリング

愛車とのロングツーリング、素晴らしい景観に出会う感動。そんな気持ちが写真に溢れていますね。あえて広い構図をお選びになったのも素晴らしいと思います。ご自分のイメージ通りに撮れた作品なのではないでしょうか。

TAMURA WATARU [フォトグラファー]



第8位★★★

ハイド3さん

Title : 出撃前

ガレージのシャッターが開く、いままさにワクワクする瞬間。そんな風に思えました。とってもストーリー性のある撮影者の思いが伝わる作品です。コロナリングの反射もホイールのエッジ感もアクセントになっていて素晴らしいと思います(^^)

Stodie愛とBMW愛を強く感じたコンテストだったと思います。写真はイメージ・・・よく使われるコトバですが、やはり一番大切なファクターなのですね。



ORIHARA HIROYUKI
[フォトグラファー]

今回のテーマは、難題であったようにも思います。ですがコンテストに応募した時点で、全ての写真がスタディとBMWと言う解釈ができます。そういった観点で、色の美しいもの、アングルの面白いもの、ワクワクさせられるものに高得点を入れました。相変わらず、レベルの高い写真が多く今回も楽しませていただきました。エントリーいただいた皆さん、お疲れさまでした。

SHIMAZAKI TOMOHIITO [フォトグラファー]

第9位★★

ひょうすけさん

Title : 0815

モ水面に映った夕焼けが、やかに綺麗な作品です。ともすれば、愛車が添え物になってしまうほど。ボディカラーが白だったことと、ボンネットが地平線より下だったことがよりボディラインを際立たせていますね。次回はライトをつけて、愛車に目が行くように気をつけて下さい。

ORIHARA HIROYUKI [フォトグラファー]

第10位★

Nuiさん

Title : 緑 - ENISHI -

特別限定車を手にされた喜び。クルマやヒトとの出会って本当に「緑」。そんな気持ちが写真に宿っています。光の当たり方をご理解した上での、エッジの効いた構図やレタッチの雰囲気、Stodie風味ですね。

TAMURA WATARU [フォトグラファー]

